

学校だより



2月がスタートしました。

1月末には、10年に一度の最強寒波が日本列島を覆い、高速道路での車両の立ち往生や水道管破裂による断水など、全国的に大きな被害が出たようです。月一回開催する児童朝会の中で、校長講話の時間がありますが、今月は、この最強寒波と地球温暖化の関係について児童に考えてほしく、問いを投げかけました。「地球温暖化なのに、最強寒波がくるのはなぜ？」と。今、4年生は理科で水蒸気の勉強をしています。6年生はSDGsの勉強で、CO2などの影響による地球温暖化について学びました。校長からの問いに興味をもち、自主学習のテーマとして取り上げる児童が出てくることを期待して、世の中の情報と学びが繋がるような話題をこれからも取り上げていきたいと思えます。



【学校情報化優良校に認定されました】

本校は、このたび、「学校情報化優良校」（推進：日本教育工業協会、後援：文部科学省）に認定されました。これは、「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校に与えられるもので、岡山県の小学校では31番目、浅口市では初めての認定校となります。これからも、ICTを授業の質の向上や業務効率化に積極的に活用していけるよう、チーム鴨西で進めていきたいと考えています。以下に、本校での情報化の取組みによる（教員・児童）学校の変容～申請内容（一部抜粋）～を掲載します。



<情報化の取組みによる学校（教員・児童生徒）の変容>

■教員の変容

- 授業において、スクールタクトの課題配布機能や、Googleの各種ソフトウェアの活用が進んでいる。スクールタクトを利用することで、子どもの理解度を教師がオンラインで即時把握することができるため、困っている子どもをフォローできたり意図的な指名につなげることができ、授業の質の向上に結びついている。
- 週末に、自主学習のテーマをスクールタクトで出すことで、自主学習の活性化にも繋がっている。また、学校内の学習と家庭学習の連携が進み出した。
- Googleミートにより、事情により登校できない児童のオンラインでの授業参加や、他校児童とのオンライン交流授業、また天文台学芸員によるリモートでの出前授業など、多様な形態での授業の実施に繋がっている。
- ワークフロー機能の導入（R4. 8月～）により、出張・年休の申請がオンラインで実施でき、紙による申請や管理職による押印が電子決済で簡略化でき、事務作業の効率化に繋がっている。

■児童の変容

- 低学年から高学年まで、また、科目については算数から道徳に至るまで、クロームブックを活用した授業が増えたことで、児童の間に、クロームブックはノートや鉛筆同様に学習のための道具であるという意識が浸透した。
- クロームブックを見せ合いながら、友達に自分の考えを説明したり友達と意見交換する授業スタイルが定着した。
- 行事（修学旅行など）終了後、児童がクロームブックを活用し、写真を盛り込んだわかりやすい報告書や感想文を作成し、教室や廊下に掲示するなどの活用が進んでいる。
- 委員会活動でも、クロームブックを用いて啓発ポスターを作成するなどの活動が進んでいる。